

物的支援の対象となる主な項目一覧

(別紙2)

※本事業目的に合致することを前提とします。

※申込されるタイプ以外の支援メニューを申請していただくことも可能です。

(例) タイプIに申込み、支援メニュー④・⑤を申請

タイプI：事業化促進型を想定

支援メニューのタイプ	支援対象となる主な項目 (例)
①研究開発支援経費	PoC費用、技術実証費
	装置費、消耗品費 (取得価額が50万円を超えるものは対象外です。)
	ソフトウェア、システムの導入費・開発委託費
	シミュレーション業務の委託費
	共同研究費、委託研究費 (他大学の研究者との共同研究など)
	研究開発用機材・備品のレンタル費
	実証実験費
	知的財産関連費 (特許の国内/国外、出願、審査請求等、制限はありません。)
	市場調査費
②各種人件費	外部人材への外注費 (委託、出向等を含みます。)
	学内のスタートアップ創出支援人材の人件費
	起業家向けアクセラレーションの参加費、受講費
	研究開発人材 (ポスドク、博士等) の人件費 (ただし、起業を目指す研究シーズに関わる活動に限定します。)
	ギャップファンドの設計・組成に係る費用
	学内シーズ向けアクセラレータープログラムの提供に係る費用
	EIR人材の雇用体制構築・人材獲得に係る費用
③広報・広告費・ブランディング費	広告費
	求人広告費
	経営人材・事業会社・VC・金融機関・先輩起業家等とのマッチング等に係る広告費
	Webサイト制作費
	パンフレットのデザイン・印刷費
④法人設立費	展示会出展費
	法人設立費用

タイプII：環境構築型を想定

⑤外部アドバイザーの派遣経費	起業前の知財確保・知財戦略立案、事業会社等との契約締結、学内規定整備に関する支援
	大学発スタートアップの立ち上げ支援
	事業化計画、研究開発計画、資本戦略策定支援
	組織づくり、チームビルディングの支援
	外部機関とのメンタリング
⑥ネットワーク構築支援経費	定期交流イベントの実施
	デモデイの開催
⑦各種人件費	TLO・URAの設置に係る雇用体制構築・人材獲得に係る費用
	学内シーズ向けアクセラレータープログラムの提供開始に係る費用